

第15回日本パペットセラピー学会大会 オンラインプログラムの詳細 参加するとこんなことが学べます

大会1日目 11月14日(日)

13:05~14:05 教育講演

「パペットはどうやって人と人をつなぐのか」 城谷 護 (腹話術の会きずな主宰)

城谷護さんはプロの腹話術師として長いキャリアを持つベテランで、浅草演芸ホールに出演する他、相棒ゴローちゃんとともにボランティアとして日本全国を回って公演を続けています。また、日本だけでなく海外でも公演を行い、その腹話術の芸を披露しています。著書「腹話術で行こう!」では、ボランティア活動の中でいろいろな人たちとふれ合い、笑顔と涙で心通わせた感動のエピソードが綴られています。パペットがいるだけでみんなが笑顔になる、パペットが心と心をつないでくれる・・・そんなパペットの素晴らしさをお話いただけます。会員の皆さんもパペットを使ってボランティアをする機会があることと思います。どうせやるなら見てくれる人と気持ちのふれあえる活動にしたいものです。そんなヒントを城谷さんから学びましょう。

残念ながら多忙のため録画による講演という形になってしまいましたので、城谷さんに質問などはできませんが、講演終了後、感想を皆さんとシェアしたいと思います。

大会2日目 11月21日(日)

10:05~10:50 大会長講演

「使ってみようよ パペットの力」 出山 雅章 (流山市立西初石小学校教諭)

パペットの持つ不思議な力、大きな力、意外な効用、そしてセラピーとしての現実的な難しさやその限界など、小学校教諭として子どもたちに接してきた経験からお話しします。そして、パペットセラピーがもっと教育や保育、福祉などに浸透して行くにはどうしたらいいのか、皆さんと考えたいと思います。

10:50~11:35 パペットレッスン 岡 信行

(ソックスパペット工房・バンブリーナ主宰)

腹話術は難しいと思われがちです。一流の技を習得するには一朝一夕にはいきませんが、ちょっと練習すれば子どもの前でデビューはできるのです。

今大会でのパペットレッスンは、「初心者でも、これをおぼえて、そのあと家で練習すれば、来週にはパペットデビューできる!」を目標に、岡先生がエッセンスを厳選してインストラクションしてくれます。パペット初心者の人はがんばってトライしてみてください。すでにパペット操作に慣れているベテランの方も、「初心者にパペットを教えるスタイル」として参加していただくと、とても有意義な活動になると思います。

11:40~12:10 レッスン&コミュニケーションタイム

コーディネーター 東 義也

まず、全体でのパペットレッスンをおこない、その後で、「ブレイクアウトルーム」と呼ばれる5~8人程度の小グループに分かれます。そこで、グループのリーダーの司会で、

全体レッスンでやったことを練習します。初心者の方にはベテランが優しくアドバイスしてくれます。少し慣れてきたら、自己紹介やおしゃべり、簡単な言葉遊びなどで楽しく交流する時間にしたいと思います。

最後にもう一度全体に戻り、やってみた感想、希望者の実演などを行いたいと思います。

13:30～14:45 口頭研究発表

(各発表20分質疑応答5分)

- 「療育におけるオリジナルパペットの活用について」 安藤 倫子
(日本腹話術師協会インストラクター)
- 「パペットを使った保育導入ー子どもたちの視線を集めるパペッター」 東海林 照子
(全日本あすなろ腹話術師協会師範 支援教育専門士)
- 「心理療法でパペットを用いるにあたっての留意点ー海外の文献に学ぶー」 森平 直子
(相模女子大学人間社会学部教授)

3人の認定パペットセラピストによる研究発表です。森平教授からは、海外の研究者によるパペットセラピーの論文紹介があります。

14:45～15:30 パペットセラピー実演ーパペットで話を聴くー(録画)

出山 雅章(流山市立西初石小学校教諭)

パペットセラピーと銘打っていますが、実際に心理的問題を抱えたクライアントの面接場面をお見せするのはちょっと難しいので、パペットを使って話を傾聴する場面の動画をお見せして、皆さんと一緒にその効果や活用、有効な方法等について考えてみたいと思います。

おねがい

パペットレッスンやパペットを使った交流の時間を設けていますので、参加者はパペットを用意してください。

○パペットは口がパクパク動かせるものをご用意ください。「トイザラス」や「ネット通販」などで、だいたい1,000円程度で購入できます。

○パペットがない方は、靴下と輪ゴムをご用意ください。作り方を説明します。すぐに簡単なパペットが作れます。